

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】令和 5 年 3 月 9 日(2023.3.9)

【公開番号】特開 2021-140589(P2021-140589A)
【公開日】令和 3 年 9 月 16 日(2021.9.16)
【年通号数】公開・登録公報 2021-044
【出願番号】特願 2020-39158(P2020-39158)
【国際特許分類】

G 0 6 F 3/01(2006.01)

10

G 0 6 F 3/04842(2022.01)

G 0 3 B 7/091(2021.01)

G 0 3 B 17/18(2021.01)

G 0 3 B 17/20(2021.01)

【F I】

G 0 6 F 3/01 5 1 0

G 0 6 F 3/0484 1 2 0

G 0 3 B 7/091

G 0 3 B 17/18 Z

G 0 3 B 17/20

20

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 3 月 1 日(2023.3.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

30

特定の設定項目を含む複数の設定項目にそれぞれ対応する複数の表示アイテムを表示手段に表示するように制御する表示制御手段と、

所定の操作を受け付ける受付手段と、

前記表示手段に対するユーザーの視線を検出する視線検出手段と、

前記特定の設定項目に対する前記所定の操作を受け付け、かつ、前記特定の設定項目に対応する表示アイテムの対応領域に対する視線が検出された場合に、前記特定の設定項目に対応する表示アイテムを第 1 の表示形態で表示するように制御し、

前記特定の設定項目に対する前記所定の操作を受け付け、かつ、前記対応領域に対する視線が検出されていない場合に、前記特定の設定項目に対応する表示アイテムを前記第 1 の表示形態とは異なる第 2 の表示形態で表示するように制御する制御手段と

40

を有することを特徴とする電子機器。

【請求項 2】

前記第 2 の表示形態は、前記第 1 の表示形態よりも、前記特定の設定項目に対応する表示アイテムの表示サイズが大きい表示形態である

ことを特徴とする請求項 1 に記載の電子機器。

【請求項 3】

前記第 2 の表示形態は、前記第 1 の表示形態よりも、前記特定の設定項目に対応する表示アイテムの表示位置が前記表示手段の画面中央に近い表示形態である

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の電子機器。

【請求項 4】

50

前記第 2 の表示形態における前記特定の設定項目に対応する表示アイテムの表示色は、前記第 1 の表示形態における当該表示アイテムの表示色と異なる

ことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 5】

前記制御手段は、前記特定の設定項目に対応する表示アイテムを前記第 2 の表示形態で表示した後に、前記第 2 の表示形態で表示された当該表示アイテムの対応領域に対する視線が所定の条件を満たしたことに応じて、当該表示アイテムを第 1 の表示形態で表示するように制御する

ことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 6】

前記所定の条件とは、前記特定の設定項目に対応する表示アイテムの対応領域に、ユーザーの視線が所定時間以上留まっていることである

ことを特徴とする請求項 5 に記載の電子機器。

【請求項 7】

前記制御手段は、

前記特定の設定項目に対する前記所定の操作を受け付けると、前記特定の設定項目に対応する表示アイテムの対応領域に対する視線の検出の有無にかかわらず、前記特定の設定項目に対応する表示アイテムを前記第 1 の表示形態で表示し、

前記第 1 の表示形態で表示した当該表示アイテムの対応領域に対する視線が検出されていない場合に、前記第 1 の表示形態から前記第 2 の表示形態に変更して当該表示アイテムを表示するように制御する

ことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 8】

前記制御手段は、前記特定の設定項目に対する前記所定の操作を受け付け、かつ、前記特定の設定項目に対応する表示アイテムの対応領域に対する視線が検出されていない場合には、当該表示アイテムを、前記第 1 の表示形態で表示することなく前記第 2 の表示形態で表示するように制御する

ことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 9】

前記制御手段は、前記複数の設定項目のうち前記特定の設定項目とは異なる第 2 の設定項目に対する前記所定の操作を受け付けた場合には、前記第 2 の設定項目に対応する表示アイテムの対応領域に対する視線の検出の有無にかかわらず、前記第 2 の設定項目を前記第 2 の表示形態で表示しないように制御する

ことを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 10】

前記第 2 の設定項目は、ホワイトバランス、露出設定値、シャッタースピード、ISO のいずれかの設定項目である

ことを特徴とする請求項 9 に記載の電子機器。

【請求項 11】

前記特定の設定項目は、フレームレート、記録画質、無線通信、測光モードのいずれかの設定項目である

ことを特徴とする請求項 1 乃至 10 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 12】

前記所定の操作とは、前記複数の設定項目の中から 1 つの設定項目を選択して、当該設定項目の設定値を変更可能または設定可能な状態にする操作である

ことを特徴とする請求項 1 乃至 11 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 13】

前記制御手段は、

前記特定の設定項目に対する前記所定の操作を受け付けていない場合には、前記特定の設定項目に対応する表示アイテムを第 3 の表示形態で表示し、

10

20

30

40

50

前記第 1 の表示形態または前記第 2 の表示形態で当該表示アイテムを表示した後に、特定の条件を満たしたことに応じて、当該表示アイテムを前記第 3 の表示形態で表示するように制御する

ことを特徴とする請求項 1 乃至 1 2 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 1 4】

特定の設定項目を含む複数の設定項目にそれぞれ対応する複数の表示アイテムを表示手段に表示するように制御する表示制御工程と、

所定の操作を受け付ける受付工程と、

前記表示手段に対するユーザーの視線を検出する視線検出工程と、

前記特定の設定項目に対する前記所定の操作を受け付け、かつ、前記特定の設定項目に対応する表示アイテムの対応領域に対する視線が検出された場合に、前記特定の設定項目に対応する表示アイテムを第 1 の表示形態で表示するように制御し、

前記特定の設定項目に対する前記所定の操作を受け付け、かつ、前記対応領域に対する視線が検出されていない場合に、前記特定の設定項目に対応する表示アイテムを前記第 1 の表示形態とは異なる第 2 の表示形態で表示するように制御する制御工程とを有することを特徴とする電子機器の制御方法。

【請求項 1 5】

コンピュータを、請求項 1 乃至 1 3 のいずれか 1 項に記載された電子機器の各手段として機能させるためのプログラム。

【請求項 1 6】

コンピュータを、請求項 1 乃至 1 3 のいずれか 1 項に記載された電子機器の各手段として機能させるためのプログラムを格納したコンピュータが読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上記目的を達成するために、本発明の電子機器は、

特定の設定項目を含む複数の設定項目にそれぞれ対応する複数の表示アイテムを表示手段に表示するように制御する表示制御手段と、

所定の操作を受け付ける受付手段と、

前記表示手段に対するユーザーの視線を検出する視線検出手段と、

前記特定の設定項目に対する前記所定の操作を受け付け、かつ、前記特定の設定項目に対応する表示アイテムの対応領域に対する視線が検出された場合に、前記特定の設定項目に対応する表示アイテムを第 1 の表示形態で表示するように制御し、

前記特定の設定項目に対する前記所定の操作を受け付け、かつ、前記対応領域に対する視線が検出されていない場合に、前記特定の設定項目に対応する表示アイテムを前記第 1 の表示形態とは異なる第 2 の表示形態で表示するように制御する制御手段とを有する。